



みどりを育む

横造協だより

発行 Vol.42

一般社団法人 横浜市造園協会
緑の諮問委員会

横浜市中区相生町6-104 横浜相生町ビル3階

TEL 045-662-9897 FAX 045-664-5633

http://www.yokohamashizen.or.jp

国際園芸博覧会の開催申請が承認

横浜市会議長 横山 正人



本年5月17日開催の市会本会議において、全会一致をもって横浜市会議長に御選任いただきました、横山正人でございます。原善三郎初代議長から数えること第50代、歴史と伝統ある横浜市の議長となりましたこと、身に余る光栄であり、その職責の重さを日々実感しております。

横浜市会の代表者としての務めを果たすべく、この間、信念を持って公務に取

り組んでまいりましたが、議長になって初めて分かった。就任からあつという間に約半年が経過し、月日の過ぎ去ることの早さを切に感じます。



二元代表制の意義を踏ま

でもなく、多くのの方々のお力添えが必要でございます。本市が有する魅力は様々な大きさな一つです。

地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の招致を推進しております。

に、御礼と開催に向けた決意を申し上げ、PRを行いました。

また春と秋の「里山ガーデンフェスタ」では、1haの横浜の花で彩る大花壇が全体の8割を超える市内産の花苗(※)を中心に彩られ、これまでとはまた違った美しさを、本当に多くの皆様に楽しんでいただきました。(※)2019年秋は全体の9割が市内産花苗。これだけの規模、かつ高い維持管理水準によって、花と緑の催しを継続的に開催できるのも、横浜市造園協会の皆様の技術力のおかげであると大変感謝しております。

「ガーデンネットワークス横浜」の取組と展開

環境創造局長 小林 正幸



横浜市環境創造局長の小林正幸でございます。

平成17年に当時の緑政局、下水道局、環境保全局の3局の統合により環境創造局がスタートして15年を迎えました。全国的にも例がない水・緑・環境保全の環境行政を二元的に担当する組織である「環境創造局」の局長という大役を本年か

ら任うこととなり、身の引き締まる思いで4月以降、勤めてまいりました。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

業等に多大な御協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成30年8月には、ガーデンネットワークス横浜を多様な主体と連携して広げていくため、「ガーデンネットワークス横浜実行委員会」を設立しました。

この春も、実行委員会や多くの企業・団体の皆様のお力添えをいただき、「ガーデンネットワークス横浜2019」を開催することができました。

今年、長野県で開催された全国都市緑化信州フェアに横浜市造園協会の御協力により出展した花壇は、全国から会場に訪れた方々の投

直撃した台風15号では、市内の公園や樹林地で倒木等の大きな被害が発生しました。会員の皆様には復旧作

に、この取組をさらに加速し、潤いや安らぎを感じられる横浜を次世代に引き継ぎ、魅力ある横浜へと発展させていくこととし、この

取組を「ガーデンシティ横浜」として位置づけました。

は、ガーデンシティ横浜を推進するリーディングプロジェクトとして、横浜ならではの花めぐりで、歴史的な街並みや港の風景、イベ



© ITOON/GN

造園業界、花き業界、鉄道・

「二面下段」に続く

第42回通常総会を開催 「ハマの緑を育む集い」に多数のご来賓

5月30日ホテル横浜ガーデンにおいて第42回通常総会を開催。左記議案について審議し全て承認された。

《決議事項》

- 第1号議案 平成30年度事業報告(案)の件
- 第2号議案 平成30年度決算報告(案)の件
- 第3号議案 令和1・2年度会費基準改定(案)の件
- 第4号議案 令和1・2年度役員改選(案)の件

退任理事 吉田哲夫・望月俊宏・有吉和夫
 就任理事 林弘一・粟飯原吉伸・渡邊秀一

終了後、ご来賓をお招きしてハマの緑を育む集いを開催した。

《ご祝辞》

- 横浜市市長 林文字様(小林副市長代読)
- 横浜市会議長 横山正人様
- 自由民主党横浜市支部連合会 幹事長 梶村充様
- 《乾杯》
- 環境創造局長 小林正幸様

林市長より メッセージ

林市長がご公務のため欠席でしたので、小林副市長が市長メッセージを代読されました。



小林副市長

本日は第42回通常総会、ハマの緑を育む集いの開催、誠にありがとうございます。田澤会長をはじめ皆様には、市内の緑の育成と普及、さらには市政全般に至るまで多大なご支援をいただき、改めて厚く御礼申

上げます。この春も、皆様からのお力添えを賜り、花と緑にあふれる都市「ガーデンシティ横浜」のリーダーシッププロジェクトとして、「ガーデンネットワークス横浜2019」を開催することができました。みなとエリア、里山ガーデンをはじめ、市内全域が今年も多く花と緑で鮮やかに彩られております。今年も新たな取組として、横浜市の花であるバラを主役にしたイベント、「横浜ローズウィーク」を開催しています。「ばらフェスタ2019」は、5日間で12,300人の来場者をお迎えいたしました。様々な催しと連携し、いつそうの盛り上がりを実現しております。

また、おかげさまで「ガーデンネットワークス横浜の取組」が、この4月に国土交通省が創設した「ガーデンツーリズム登録制度」の第1号として本日登録を受けました。これを機に、ガーデンネットワークス横浜を国内外に向けていっそうPRしてまいります。

この4月からは3期目となる「横浜みどりアップ計画」が始まり、新たな5か年のスタートを切りました。緑豊かな美しい街横浜に向けて、着実に取組を進めてまいります。市内の公園事業では、身近な公園の整備・維持管理に加え、小柴貯油跡地の公園など大規模な公園の整備を継続して進めてまいります。国際園芸博覧会の招致については、今年度から国際園芸博覧会招致推進室を設置するなど、組織体制を強化してこれまでも以上に一丸となつて

取り組みをすすめてまいります。今年「第7回アフリカ開発会議」、「ラグビーワールドカップ2019」、来年には「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催を控え、国の内外から多くのお客様を迎える大規模な催しが続きます。これを絶好の機会と捉え、「花と緑にあふれる環境先進都市」として、美しい花と緑で横浜を訪れる多くのお客様をお迎えし、国内外に横浜の魅力を発信してまいります。皆様方からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、横浜市造園協会が主催する「ご発展とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とかせさせていただきます。

国際園芸博招致へ最大限の協力を

横浜市造園協会会長 田澤 重幸



田澤会長

本日はお忙しいところ、このように多くの皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

先ほど当協会の「第42回通常総会」が終了いたしました。引き続き会長を仰せつかりました田澤です。今後も新体制共々指導の程よろしくお願い申し上げます。

さて、3月23日に開幕した「ガーデンネットワークス

横浜 2019」も余すところ、3日間となりました。「里山ガーデンフェスタ」については既に終了した14万5千人の入場者があったと伺っております。みなとエリアでは、今回初開催の「横浜ローズウィーク」をはじめ、市の内外から多くの方々にご来場いただき、花と緑の美しさを堪能していただいております。

「国際園芸博覧会」招致に向けては、2月21日に横浜市で「国際園芸博覧会の横浜誘致を成功させる横浜市議員の会」が設立され、今年度から政策局には「国際園芸博覧会招致推進室」、環境創造局・道路局では上瀬谷担当課が設置されました。さらに、農林水産省と国土交通省では「横浜国際園芸博覧会」開催調査費が計上され、同省から職員が派遣もいただき国と市が一丸となった体制が整いました。また昨日5月29日には「国際園芸博覧会

が、この4月に国土交通省が創設した「ガーデンツーリズム登録制度」の第1号として本日登録を受けました。これを機に、ガーデンネットワークス横浜を国内外に向けていっそうPRしてまいります。

この4月からは3期目となる「横浜みどりアップ計画」が始まり、新たな5か年のスタートを切りました。緑豊かな美しい街横浜に向けて、着実に取組を進めてまいります。市内の公園事業では、身近な公園の整備・維持管理に加え、小柴貯油跡地の公園など大規模な公園の整備を継続して進めてまいります。国際園芸博覧会の招致については、今年度から国際園芸博覧会招致推進室を設置するなど、組織体制を強化してこれまでも以上に一丸となつて

取り組みをすすめてまいります。今年「第7回アフリカ開発会議」、「ラグビーワールドカップ2019」、来年には「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催を控え、国の内外から多くのお客様を迎える大規模な催しが続きます。これを絶好の機会と捉え、「花と緑にあふれる環境先進都市」として、美しい花と緑で横浜を訪れる多くのお客様をお迎えし、国内外に横浜の魅力を発信してまいります。皆様方からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、横浜市造園協会が主催する「ご発展とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とかせさせていただきます。

結びに、横浜市造園協会が主催する「ご発展とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とかせさせていただきます。

令和1・2年度役員名簿		
役職名	氏名	事業所名
顧問	藤巻 司郎	藤造園建設(株)
相談役	生駒 隆一	生駒造園土木(株)
会長	田澤 重幸	(株)田澤園
副会長	矢部 均	(株)三橋緑化興業
専務理事	林 弘一	事務局
理事	坂田 宏	サカタのタネグリーンサービス(株)
〃	田口 英明	田口園芸(株)
〃	永吉 克哲	(株)永吉緑化
〃	粟飯原吉伸	(株)濱田園
〃	藤巻 慎司	藤造園建設(株)
〃	渡邊 秀一	横浜植木(株)
〃	樋熊 浩明	横浜緑地(株)
〃	山田 裕之	(株)ワールドグリーンメンテナンス
監事	石井 直樹	石井造園(株)
〃	吉田 直治	相武造園土木(株)



ご協力いただいた取組が高く評価された結果です。この登録を機にガーデンネットワークス横浜をより一層魅力あるものとして国内外にPRし、花や緑を楽しむために来られる方々をさらに多く横浜にお迎えしたいと思っております。

本年9月には2027年の「国際園芸博覧会」の横

略歴

- 昭和57年3月 早稲田大学理工学部土木工学科 卒業
- 4月 横浜市採用
- 平成16年4月 都市計画局都市計画課長
- 平成18年4月 道路局企画課長
- 平成20年4月 泉土木事務所長
- 平成23年5月 環境創造局政策調整部長
- 平成27年4月 磯子区長
- 平成31年4月 環境創造局長



樹木に魅せられて (第37回)

手塩にかけて育てる

横浜市環境創造局

公園緑地部動物園課

担当係長 村田 光世

気が付けば20年以上も横浜市の造園職として仕事をしています。いろいろな経験をさせていただきましたが、樹木に魅せられて」というタイトルなので、樹木にかかわる印象的な業務を書いてみたいと思います。

1 ユーカリ!

入庁から1年目、直営時代の金沢動物園に配属され、最初の1年は、ののほな館でイベントや展示の企画をさせていただきました。

2年目からは園地管理の業務を担当しましたが、中でも特殊な業務は、コアラの餌となるユーカリの栽培と供給。市内と鹿児島、沖縄、三重の農家さんに栽培を委託し、飼育担当と相談しながら供給スケジュールを立てる仕事です。前任である農業職の大先輩が、農家さんとともに10



年かけて作り上げた業務経験の浅い私は、とにかく農家さんと一緒に圃場を回り、発育状況の見方や気になることなど、いろいろ教えていただきました。台風のために心配で眠れず、無事を確認する電話をかける一喜一憂していた記憶があります。

今年、動物園課に配属され、20年ぶりに市内の畑を見に行きました。私が担当だった時に世代交代をされた農家さんが、畑で出迎えてくださったことがとても嬉しかったです。お父様と同じように端正に仕立てた畑を見て、変わらないことの素晴らしさを感じました。

2 桃源郷みたいな景色

次の異動では、建設課(今の公園緑地整備課)に配属され、本郷ふじやま公園を担当しました。古民家の建



築から園地の整備まで、本当に幅広い業務をさせていただきました。何をするのも初めてで、市民の皆さんと活用の検討をし、設計から監督まで、四苦八苦しながら取り組んだことを思い出します。その中で「梅林が欲しい」という要望を受け、コンサルタントさんが作成した計画図には、入口と古民家との間の小山に梅林がありました。

10年後、娘たちを連れ冬に訪れた古民家は、整備直後は小さかった梅の木たちも立派に育ち、ほのかな香りに包まれます。桃源郷。古民家も含めて、大事に育ててくれた管理者の方々に感謝した瞬間でした。

3 手入れの必要のない林はない

技術監理課、みどりアップ推進課を経て、南部公園緑地事務所に配属されまし

た。大きな公園と樹林地を管理する部署です。横浜市内にある樹林地は、里山として材などを活用していた場所がほとんどです。手入れをしなくなった樹林は、巨木化し倒れやすくなるか、常緑樹が増え暗い林になるか、竹林が侵略してくるか。さらに、残された樹林地の多くは急傾斜地なので、斜面の崩壊を防ぐためにも、定期的な管理を行う必要があります。南部公園緑地事務所では、生物多様性や安全性などに配慮し長期的な視点で管理を行うため、保全管理計画の策定をしています。その上で、安全対策として、急斜面林の伐採更新を進めています。歩くのもつらい斜面地で、巨木を一定の高さで幹をつめ、発生した材でぞだ柵を作ります。人家が近い場所ばかりで困難な作業ですが、高い技術力で対応してくださる造園業者さんが増えてきているのは、本当にありがたいことです。

研究や創意工夫をされ挑む姿はまさにプロフェッショナル。惚れ惚れしています。樹林地管理は、育成など今後研究が必要な分野です。より良い管理を目指し、造園業のみならずとご一緒に研究や実践を進めてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

労働安全衛生大会を開催

7月24日ホテル横浜ガーデンにおいて「令和元年度労働安全衛生大会」を開催した。

横浜南労働基準監督署長 古屋 強様、横浜市環境創造局 みどりアップ推進担当理事 橋本健様、横浜



市財政局公共施設・事業調整室長 高木勇一様、横浜南労働基準監督署長 山浦善宏様、はじめ各局幹部および各区土木事務所長の方々をご来賓にお迎えしました。本年度も労働災害ゼロを目標として、安全標語入選者表彰(標語応募総数262)・安全宣言を行いました。また株式会社健康Life体操S&Sインストラクター 小坂 愛様を講師に迎え、「疲れをのこさない体づくり講座&実践」と題して健康づくりの3要素のご講演とストレッチ実践を行っていただいた。

委託安全パトロールを実施

実施日時 8月2日

実施案件

公園維持業務委託(保土ヶ谷区・磯子区・港北区) 街路樹維持業務委託(磯子区・青葉区・都筑区)

実施結果

軽微な指摘事項

・作業車両の輪止めが不十分だった。(平地、傾斜地を含む)
・携行缶の不使用が一部に見られた。

優良事項

・熱中症対策グッズ(熱中 飴、冷却スプレー、瞬間冷却剤、経口補水液)を用いていた。

・歩行者通路の不確保(カラーコーンがあるのに使用されていない)
・消火設備の不備
・公園入口の車止めが外したままになっていた。(穴が開いた状態なので危険)
・チェーンソーを使用していたが、チャップスを着用していなかった。
以上の通り、各現場に於いて、概ね良好な結果であった。

入選標語

最優秀賞

危険箇所 気づいたあなたが 責任者 他人に任せず 今改善

(株) きたむら園 北村 善輝

優秀賞

安全は 止める勇気と 待つ余裕 守っていますか

現場のルール 自分のみわりも もう一度

奈良造園土木(株) 一人一人が責任者

横井 佐知子 (株) みやした園芸

田中 富男

気付いたら 遠慮しないで 即注意!

掛ける言葉に思いやり 心は一つ無災害

一造園土木(株) 小山田 直樹

総評



・作業責任者の一時不在時の体制について
発注者打合せなど、作業責任者が現場を離れる際、必ず代理責任者を配置し、緊急時連絡体制を確保して下さい。

・輪止めの設置について
塵芥車など作業車両には、作業時・停車時・平地・傾斜地に係らず輪止めを設置し、安全管理の一環として、事故防止に努めて下さい。

・作業車両の輪止めが不十分だった。(平地、傾斜地を含む)
・携行缶の不使用が一部に見られた。

・歩行者通路の不確保(カラーコーンがあるのに使用されていない)
・消火設備の不備
・公園入口の車止めが外したままになっていた。(穴が開いた状態なので危険)
・チェーンソーを使用していたが、チャップスを着用していなかった。
以上の通り、各現場に於いて、概ね良好な結果であった。

・作業機械などの燃料(ガソリン、混合油)の保管、取り扱いについて
必ずガソリン携行缶を使用して下さい。(UNマーク等の国際基準品)
会員の皆様には上記の事柄について、改めて全ての作業従事者へ周知をお願い致します。

・無事故・無災害を目指し、協会員全員が一丸となって安全に取り組みましょう。

